



Japan
Clinical
Aromatherapy
Society
Workshop

第2回 日本臨床アロマセラピー学会
ワークショップ in 大阪

テーマ：心の病気とPTSD

1日目 平成26年11月23日(日)
13:00~21:00(懇親会含む)

2日目 11月24日(月・祝)
8:30~12:30

場所:ハートンホテル 南船場 大阪府大阪市中央区南船場2-12-22
Phone. 06-6251-2111

もくじ

日本臨床アロマセラピー学会 理事・役員	2
プログラム DAY 1	3
プログラム DAY 2	4
会場案内	5
講師紹介	6
開会挨拶 理事長 大本 千佳	9
開会挨拶 副理事長 宮原 英二	10
特別講演 「痛みと記憶」	11
講演 「精神疾患に対するアロマセラピーの応用と効果」	14
講演 「こどものPTSD」	17
一般演題 「医療現場でのアロマ導入事例」	20
① 心の傷を負った方へのアロマトリートメント症例報告	
② 心の傷・病気を持つ女性の妊娠・出産・育児期のアロマセラピーでの関わり2症例 ～香りとタッチングで心を癒す～	
③ 災害支援とアロマセラピー ～被災者の想いと香りの働き～	
報告 臨床アロマ実践報告について アンケート調査	29
講演 「当院のリワーク(うつ病の復職)への取り組み」	30
イブニングセッション	32
ウェイクアップトリートメントスキルアップ	33
看護にいかす交流分析	39
エンディングセッション	43
閉会挨拶	44

日本臨床アロマセラピー学会

理事・役員

理事長	助産院菩提樹 所長 大本 千佳
副理事長	宮原レディースクリニック 院長 宮原 英二
副理事長	ヤナセクリニック 院長 柳瀬 幸子
副理事長	さめじまボンディングクリニック 院長 鮫島 浩二
理事	山形大学 准教授 藤田 愛
理事	有秋台医院 師長 徳田 真理子
理事	福井クリニック 院長 福井 チナミ
理事	東京大学大学院 准教授 春名 めぐみ
顧問	皮膚科医 中井皮膚科 院長 中井 悠齋
監事	放射線技師 大分県日田済生会日田病院 森下 泰治
事務局	事務局長 齋藤 英彰 副事務局長 森下 潤伊 スタッフ 松岡 晴美 〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町1-4-10A
顧問税理士	安井 聡彦

プログラム DAY1

2014年11月23日(日)

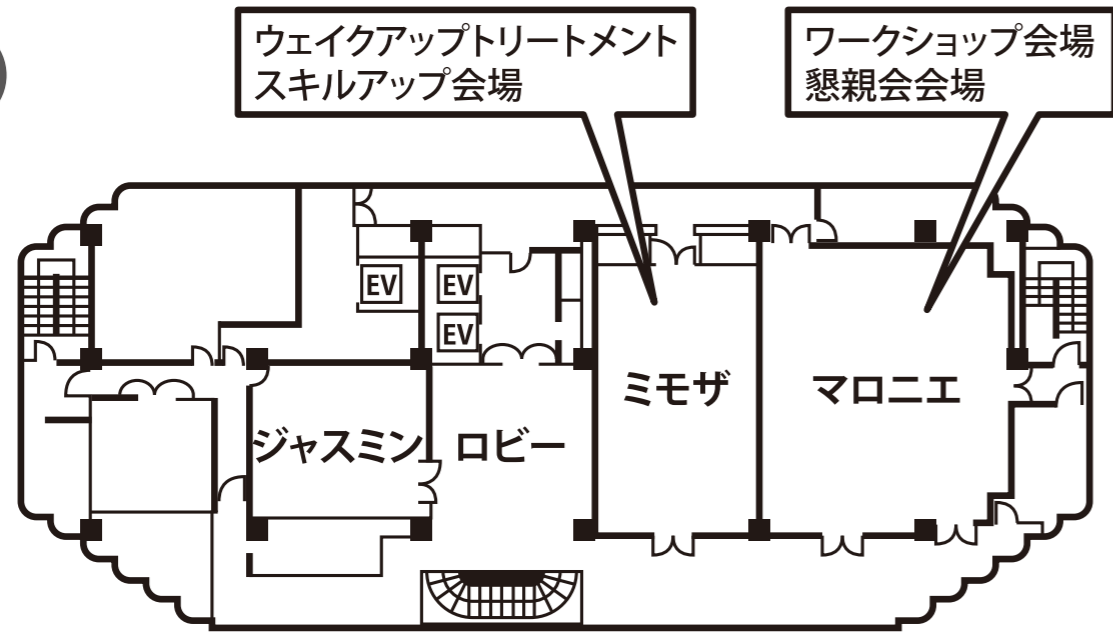
- **開会挨拶** 13:10~13:30
一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会理事長 大本 千佳
一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会副理事長 宮原 英二
- **特別講演 「痛みと記憶」** 13:30~14:15
市立豊中病院総長 兼 病院長 兼 地域医療連携部長 眞下 節
- **講演 「精神疾患に対するアロマセラピーの応用と効果」** 14:20~15:05
三重大学医学部看護学科 成人・精神看護学教授 小森 照久
- **講演 「こどものPTSD」** 15:15~16:00
神戸市総合療育センター 相談検査 関東 由加
- **一般演題 「コメディカルの医療現場でのアロマ導入事例」** 16:05~16:50
 - ① 『心の傷を負った方へのアロマトリートメント症例報告』
ふうすい堂氣功指圧院内 むくみケア「kaguya」主宰 北村 尚代
 - ② 『心の傷・病気を持つ女性の妊娠・出産・育児期のアロマセラピーでの
関わり2症例』~香りとタッチングで心を癒す~
医療法人きずな会 さめじまボンディングクリニック アロマセラピスト 柳 貴美枝
 - ③ 『災害支援とアロマセラピー』~災者の想いと香りの働き~
医療法人山村医院アロマ外来 看護師
アロマテラピースクール Olive seed 菊池 千佳
- **報告 臨床アロマ実践報告について アンケート調査** 17:00~17:45
日本臨床アロマセラピー学会理事 徳田 眞理子
- **特別講演 「当院のリワーク(うつ病の復職)への取り組み」** 17:50~18:10
医療法人内海慈仁会 有馬病院 内海 浩彦
- **イブニングセッション** 18:25~19:00
日本臨床アロマセラピー学会理事 柳瀬 幸子
- **懇親会** ハートンホテル南船場 2F 19:30~21:30

プログラム DAY2

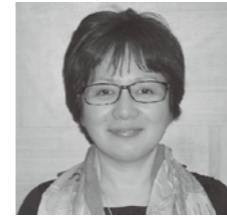
2014年11月24日(月・祝)

- **ウェイクアップトリートメントスキルアップ** 8:30~9:30
一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会理事長 大本 千佳
一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会理事 徳田 眞理子
- **講演 「看護にいかず交流分析」** 9:40~11:40
ルーテル学院大学名誉教授 白井 幸子
司会：一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会副理事長 宮原 英二
- **講演 「エンディングセッション」** 11:50~12:30
ルーテル学院大学名誉教授 白井 幸子
一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会副理事長 宮原 英二
一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会副理事長 鮫島 浩二
- **閉会の辞** 12:30
一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会副理事長 柳瀬 幸子

3階



- 地下鉄御堂筋線心斎橋駅A階段クリスタ長堀北5号出口より徒歩1分。
- 駐車場：無し
- JR新大阪駅より タクシーで約15分。JR大阪駅より タクシーで約10分。



大本 千佳 日本臨床アロマセラピー学会理事長 / 助産師

経歴

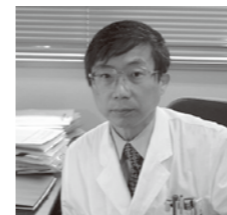
- 1984年 京都府立医科大学付属看護専門学校 助産学科卒業 助産師取得
- 1995年 日生病院 産婦人科アロマ外来立ち上げ
- 2003年 大本助産所「菩提樹」開業
- 2013年 JCAS(一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会) 講師認定



宮原 英二 一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会 理事 / 医師

経歴

- 1981年 久留米大学医学部卒業
- 1981年 久留米大学 産婦人科勤務
- (一社)日本アロマセラピー学会 評議員
- 宮原レディースクリニック 理事長



眞下 節 市立豊中病院 総長 兼 病院長 兼 地域医療連携部長 / 医師

経歴

- 1973年 大阪大学医学部医学科卒業
- 1999年 大阪大学医学部教授
- 2010年 大阪大学医学部医師会会長
- 2013年 市立豊中病院病院長・麻酔科部長兼任



小森 照久 三重大学医学部看護学科成人 精神看護学講座教授 / 医師

経歴

- 1981年 三重大学医学部卒業
- 1999年 三重大学医学部附属病院精神神経科講師
- 2001年 三重大学医学部精神神経科学助教授
- 2007年 三重大学医学部看護学科成人 精神看護学講座教授



関東 由加 神戸市総合療育センター 発達相談員 / 臨床心理士

経歴

- 2001年 岡山大学大学院教育学研究科学校教育専攻(臨床心理学)修了
- 2001年 神戸市こども家庭センター(児童相談所)児童心理司
- 2013年 神戸市総合療育センター 発達相談員



北村 尚代 ふうすい堂氣功指圧院内 むくみケア「kaguya」主宰 / 看護師

経歴

- 2011年 名古屋市南区にて夫が経営するふうすい堂氣功指圧院内にアロマセラピートリートメント むくみケア「kaguya」を開設。
がん手術後ケア、痛みのケアなどを行なっている。

JCAS講師認定



柳 貴美枝 医療法人 きずな会 さめじまボンディングクリニック / アロマセラピスト

経歴

- 1994年 看護師免許取得
看護師として大学系総合病院の神経内科・脳神経外科・消化器外科・呼吸器外科等勤務を経て、現在に至る。
アロマボランティアにも積極的に参加。

JCAS実技認定



菊池 千佳 NARD JAPAN認定校 Olive seed主宰 / 看護師

経歴

- 看護師取得後、救急医療に携わる。
- NARD JAPAN 認定アロマイストラクター
(医療従事者を中心にアロマアドバイザー養成)
- 医療法人・健悠会 清水整形外科
- 医療法人・山村医院アロマ外来開設
- JCAS学術認定



内海 浩彦 有馬病院副理事長 / 医師

経歴

- 1988年 京都府立医科大学卒業
- 1990年 田辺病院常勤医
- 2001年 姫路北病院副院長、公立宍粟病院外来非常勤医
- 2009年 有馬病院副理事長



白井 幸子 ルーテル学院大学名誉教授 / 臨床心理士

経歴

- 1963年 青山学院大学文学部英米文学科卒業
- 1970年 エール大学神学部卒業(神学修士)
- 1999年 ルーテル学院大学臨床心理学科教授
- 2014年 同大学名誉教授



徳田 真理子 一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会 理事 / 助産師

経歴

- 千葉大学看護学部卒業
- 聖路加看護大学大学院看護研究科ウイメンズヘルス・助産学専攻修士課程修了
- JCAS講師認定
- 有秋台医院 師長



柳瀬 幸子 一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会 副理事長 / 医師

ヤナセクリニック 院長

<http://www.pmc.or.jp/yanase/>

医師・医学博士

日本産婦人科学会認定医

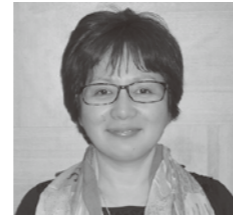
津市子育て子育て支援会議メンバー

津市子育て広場支援者交流会メンバー

NPO法人 国際ボンディング協会 理事

一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会理事長

大本 千佳



7月に第1回日本臨床アロマセラピー学会ワークショップを東京で開催して、予想を反して多くの会員が参加してくださいました。こころより感謝いたします。

ワークショップも終わるや否や、佐世保市で女子高校一年生の同級生を殺害という痛ましい事件が日本の社会に衝撃を与えました。女子高校生であることやその残忍さがクローズアップされていますが、加害者の女子高生の生い立ちや家庭環境も考えていくと現代社会の問題がクローズアップされてきます。衝撃的な事件や事故は当事者や関係者でない私たちにも深い傷跡を残し、時には敏感に、そして時には鈍感になったりし、私たちの命への価値観の持ち方にも大きな影響を与え、育児・教育・社会にも多くの問題が隠されていることに気が付きます。

私は度々上京しますが、時として交通機関の遅れに遭遇します。その理由が駅での人身事故という内容のアナウンスを聞き、身震いしますが、同じホームには、「またか。」という声や態度を表す人も見受けられ、冷ややかに人間の命が絶たれたことに哀れみの感情を持たない人間が増えたことに不安と悲しみがこみ上げます。理由は何にしろ私にはひとつの大切な命を絶った人間の姿の悲しみや哀れむ気持ちが湧き立ち愕然としますがこれはまともな人間としての感情と思っています。

今回のテーマであるPTSDは災害や事件事故にあった当事者や関係者だけでなく、私たち身近にある問題です。

多方面でPTSDに取り組まれている先生方をお招きして、PTSDの実態を知って頂くために選びました、そして私たちが学ぶアロマセラピーをどのように活用すればPTSDで悩む方々にどう寄り添えるのか考える良い機会にしてみたいと思います。

皆様の熱い討論を期待しています。

一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会副理事長

宮原 英二



7月20日・21日に緩和医療をテーマにして東京で開催されました。記念すべき第1回のワークショップを企画し、多くのスタッフに助けられて無事終わることができた事に心より感謝いたします。また当初より多くの参加者があり、このワークショップを盛り上げてくれた参加者にも感謝し、今後の発展を見守って頂きたいと思っております。

第1回のワークショップでは小早川先生をはじめ数名の方々にホスピス緩和医療の現状を語って頂き、ホスピス緩和医療が人間と人間に残された本当の医療であることに私は心打たれたと同時に、現代医療のホスピス緩和医療への理解がもっと進むことに期待をしています。また真下先生の慢性疼痛の講演はアカデミックな内容で精油の持つ作用が科学的な根拠の基で活用出来る生理を知ることができました。

新約聖書(マタイによる福音書)の中から「聞くだけで行なわない者は皆、砂の上に家を建てた愚かな人に似ている」のように知識だけではなく、患者と対峙し行動に移さなければなりません。そこで翌日のトリートメントスキルアップを企画し、半数以上の方々が参加されて知識を新たに、また再認識された方々も多かったと思います。現場には多くの問題や苦難や矛盾があるかと思いますが、死を迎える患者家族のため是非現場での実践に取り組んで頂きたいと考えています。

また、特別講演として白井先生に交流分析のお話を頂きました。私はこの交流分析を「心のトリートメント」と受け止めました。肉体的トリートメントも大切ですが、心にもトリートメントが必要です。それも相手が心地よい気持ちになるようなトリートメントが必要です。もっともっと白井先生のお話を聞いたかった参加者は多かったと思います。またこの交流分析のスキルはアロマセラピーを身につける者には絶対に必要な知識です。次回のワークショップにもお招きして、さらにお話を聞かせて頂ければと願っています。

最後に、ワークショッププランナーとして、イブニングセッションとモーニングセッションを企画しました。参加者の疑問や要望を集めて企画しましたが、予想以上に疑問・難問・珍問が集まり驚くやら嬉しいやらで満足しております。是非次のワークショップに繋げて行きたいと思っております。

第2回ワークショップはPTSDをテーマにしています。第1回よりももっと活発な討論を期待しています。楽しみにしています。

エンディングセッション

白井 幸子 + 鮫島 浩二 + 宮原 英二

司会：柳瀬 幸子

memo

閉会挨拶

一般社団法人 日本臨床アロマセラピー学会副理事長

柳瀬 幸子



第2回日本臨床アロマセラピー学会ワークショップを「精神疾患、PTSDとアロマセラピー」をテーマとして大阪で開催させていただきます。

アロマセラピーが医療現場で周知され、積極的に活用されているかといえば、まだまだ遠い道のりと感じます。しかし、第1回ワークショップ「緩和ケアとアロマセラピー」での活発な発表や討論、感想をみていると、命の最後を迎える痛く辛く寂しい患者様への温かい触れ合い、それを看取る患者家族と患者様の心をつなぐ方法として、アロマセラピーは素晴らしい効果があると感じました。

今回テーマとしました精神疾患、PTSDに対してもアロマセラピーは、効果があり、役に立つ手法と考えます。精神的な問題がある患者様に対して、言葉でのコミュニケーションは難しい場合があります。そんな時に、アロマセラピーの肌と肌との優しいコミュニケーションは、患者様の心の中に響くものがあるのではないのでしょうか。精神科領域だけではなく、近年の社会情勢の中、どの領域でも心を病んでいる方がたくさんみえます。また、天災等による家族の思いがけない死、自分自身の体験した恐怖を受け入れられずに苦しんでいる方もたくさんみえます。今回のワークショップが、私達アロマセラピーに携わるものにとって、今後の臨床現場で活用できるヒントになればと思います。

日本臨床アロマセラピー学会では、正しい医療知識のもとに、臨床現場で苦しんでいる患者様に少しでもアロマセラピーが役立つよう、学び、検討し、研究していきたいと考えています